

# TOKYO 会報

No.7

2012(平成24)年9月30日発行

大妻同窓会東京

発行責任者 山田 恵理(代表)

## TOKYO会報No.7によせて

大妻同窓会東京代表 山田 恵理

今年の夏も長く、日暮れて時折聞こえる虫の声に秋を待ち遠しく感じました。

本会は昨年度より「大妻同窓会東京」と名称が変わりましたが、設立主旨に変わりはなく発足後7年目を迎えております。新しい大妻コタカ記念会館は運営委員会や講演会などで利用されることも増え、卒業生のホームグラウンドとしての存在意義を大きくしています。また、記念会館向かい側の施設「大妻女子大学生活科学資料館」は今年の4月から「大妻女子大学博物館」と名称変更になりました。ここにコタカ先生の居室が移設され、企画展に因んだ小冊子などが置かれ内容の充実が図られております。

千代田キャンパスは再開発が進み設備も新しく整えられ、近年は学生・卒業生のみならず地域の人々へも開放されておりますが、本会の事業を通じ母校の発展を紹介し、人々が集まることによる相互の活性化を促す一助になれば幸いです。年代を越えた卒業生の交流を通して学ぶことも多く、日々の生活・活動にも広がりを感じます。皆様、是非ご家族ご友人をお誘いの上、お出かけ下さいますようお願い申し上げます。

## 大妻女子大学加賀寮閉鎖

昭和16年より遠方から入学された学生の皆さんに愛されてきました加賀寮が、来年3月末をもち閉鎖されることとなりました。新たに世田谷区久我山に学生寮が建設され、本年4月より加賀寮生も移り新しい生活を始めております。加賀寮は解体される予定ですが、その前に見学の機会を作っていました。「ふるさと」No.64にも掲載されています。

- ・見学期間：平成25年3月25日(月)～29日(金)
- ・見学時間：午前10時～午後4時
- ・申込み先：一般財団法人大妻コタカ記念会事務室  
Tel : 03-3265-7030  
Email : [jimu@otsuma-kotaka.or.jp](mailto:jimu@otsuma-kotaka.or.jp)
- ・申込み締切 平成25年3月9日(土)

また、同窓会東京では3月27日(水)に事業の一環として見学会を企画しております。同封のTOKYO通信に詳細を掲載しておりますので、是非、そちらもご覧下さい。

## 平成24年度大妻同窓会東京総会

今年度の総会は、6月10日(日)10:00よりシェラトン都ホテル東京にて開催し、例年の教室とは異なる雰囲気の中、式次第が滞りなく進められました。代表挨拶、平成23年度事業報告(本紙2、3頁所載)、収支決算報告・監査報告(4頁所載)、平成24年度事業計画(TOKYO通信No.13、14所載)・収支予算(本誌4頁所載公開)について各担当委員より報告がございました。平成23年度前半の事業では、「私のTOKYO」にて谷

根千から本郷を巡り、支部総会、コーラス公開講習会が実施され、後半には「同窓会東京の集い」記念会館と大妻祭見学、ジャワ更紗についての公開講演会、「私のTOKYO」深大寺と神代植物園、紅茶インストラクターを招き公開講習会、筝曲を鑑賞・体験する講演会が実施されました。閉会の後、参加者17名で賑やかに記念撮影を行ないました。来年度の総会についての企画も検討を始めております。お楽しみに。

## 平成23年度後期・24年度前期事業報告

ご参加、ご協力ありがとうございました。

### ① 第9回同窓会東京の集い

#### 「大妻コタカ記念会館と大妻祭」

江口 邦子（短期大学部家政科S45）

10月22日(土)正午、記念会館前に集合、5名の参加者と共に完成したばかりの記念会館を見学しました。その後、千代田校舎へと移動し記念撮影、大妻祭を見学。13時より記念会主催、田野崎昭夫先生（中央大学名誉教授）を講師に迎えた文化講演会「遠野物語誕生の地、大妻女子大学加賀寮～柳田國男と佐々木喜善～」を拝聴しました。柳田國男の家（大妻加賀寮）と「遠野物語」誕生にかかるお話、「遠野物語」は119話あり、明治43年（1910年）に出版され日本の民族学の夜明けを告げた原典として日本を代表する文学作品となつことなどを伺いし、有意義な時間を過ごしました。

### ② 第11回公開講演会「ジャワ更紗ーバティックの魅力」

中澤 範子（短期大学部家政科S34）

11月12日(土)13:30～15:00、千代田校舎366教室において、呑山委佐子氏（大妻女子大学短期大学部教授）の「ジャワ更紗ーバティックの魅力」と題する講演会が行われました。お話しは更紗コレクター竹内葉氏との出会いから進められ、更紗という言葉の成立、インドネシアの更紗（バティック）の特徴、手描き、チャップ（金属製の模様型）による染色の特徴、バティックの用途（腰巻・ショール・頭巾・抱え帯など）、意匠構成とバティック模様の特色など、また、模様については多彩な花更紗の北岸様式と、王宮を中心に発展した中部ジャワ様式の茶系に特徴のあるものに大別でき、伝統的な模様にはそれぞれ意味や格式があること、バティックの両面染めの理由と日本の染織品との関連など、バティックの魅力について映像を含めて分かりやすくお話し下さいました。終了後には、ご持参くださった高価な更紗に直接触れさせて頂き、目から鱗が落ちるあつという間の1時間30分でした。なお、竹内葉編著「ジャワの花更紗」が参加者全員に贈呈されました。

### ③ 第6回私のTOKYO

#### 「深大寺と神代植物園」に参加して

平林 昭子（専門部育児科S23）

1月22日(日)武蔵野の自然の中、参加者8名で浅草寺に次ぐ古い寺院である深大寺に参りました。昼食を予約した「水神苑」の送迎バスで調布駅から約10分、境内には清水が湧き、樹木の美しさと共に自然の静寂さに魅了されました。国の重要文化財に指定されている釈迦如来倚像等を見学、また句碑、詩碑をも楽しみました。折しも正午の梵鐘が響き、その音色を懐かしく耳にする事が出来ました。神代植物園は昭和36年、



総 会

都500年を記念して開園された植物園。大芝生を中心にバラ園、大温室、山野草園、萩園、梅園があり、年間を通して多くの花が観賞出来ます。当日は牡丹が寒さの中、艶やか



第9回同窓会東京の集い 大妻祭

に咲き誇っておりました。ボランティアガイドさんの興味深い話の数々も伺うことができ、満足の散策でした。昼食は個室を借り、名物のそば懐石をゆっくりと歓談しながらいただきました。近くにお住いの方の参加もあり、同窓生の温もりを感じた一日でした。

### ④ 公開講習会「紅茶インストラクターを招いて」

太田 妙子（家政学部被服学科S61）

2月26日(日)紅茶インストラクター石川典子氏（家政学部児童学科卒）をお招きし、美味しい紅茶の淹れ方や紅茶文化の話を伺いました。日常、気軽に飲んでいる紅茶ですが、水・温度・蒸らし方等により全く違う色、味になり、本当に美味しい紅茶を淹れるには茶葉の量や蒸らす時間を正確に測ることが大切であることを学びました。最後は自分たちで淹れた紅茶に石川氏手作りのケーキをいただき、アフタヌーンティの気分を味わいました。今年はロンドンオリンピックも開催されました。皆さんもご自宅で優雅に紅茶を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### ⑤ 第12回公開講演会

#### 「伝統芸能について～箏曲 古典と現代曲～」

植野 一恵（家政学部児童学科S54）

3月17日(土)古典曲と現代曲の美しい演奏から始まった恒例の伝統芸能講演会は、今回はお琴について学びました。お琴の発祥は古事記に記載もみられるほど古く、元来神聖な楽器であり、その姿は「龍頭ー龍角ー龍尾」と龍に例えられるそうです。元井講師に、独特の音階や基本奏法を真近で実演していただき、更にお琴が身边に感じられました。また、お琴の歴史を西洋音楽史と対比するという斬新なお話に驚いたり、最後は元井講師の手とり足とりのご指導のもと、「さ

くら」を弾いたり「花さかじいさん」のBGMを数人で即興演奏するなど、参加者10名の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。

#### ⑥ 第7回私のTOKYO 「渋谷 動と静」

長岡 博子（文学部国文学科）

梅雨入り間近の5月27日(日)第7回私のTOKYOは商業、文化の発展著しい渋谷をとりあげました。東急文化会館跡地に高層ビル「渋谷ヒカリエ」が新築され、未だ未完成ではございましたが一足早く訪問しました。劇場のある8階では渋谷上空を西北にわたって見渡すことができ、9階では完成間近の商業施設や美術館などを、参加者9名で興味深々に見てまわりました。



講師 吞山委佐子氏



ジャワ更紗

第11回公開講演会



深大寺



講師 石川典子氏



ヒカリエ



神代植物園



大事な計量スプーン

公開講習会「紅茶インストラクターを招いて」



セルリアン能楽堂

第7回私のTOKYO



水神苑

第6回私のTOKYO



講師 元井美智子氏と共に

第12回公開講演会「伝統芸能について」



講師 山口美枝子氏と正しい姿勢で

公開講習会 コーラス

渋谷は原宿に続く明治神宮があり、地方からも大勢の人々が訪れます。午後からは、セルリアンタワー東急ホテルに足を向きました。そこには能楽堂が設置されており、丁度観世流のおさらい会が行われていましたので入場させていただき、幽玄の世界に浸りました。次回も大妻同窓会東京の催しに是非ご参會いただき、心を癒し友情を深めましょう。

#### ⑦ 公開講習会コーラス Vol.2について

津田 厚子（家政学部家政学科S37）

7月8日(日)昨年に続き「世界と日本の歌をうたおう」公開講習会が千代田校舎児童学科音楽表現練習室にて行われました。山口美恵子氏(文学部国文学科卒)のご指導で発声の練習から始まり、「ふるさと・エーデルワイス・あの素晴らしい愛をもう一度・野ばら(シューベルト)・野ばら(ベルナル)・遙かな友に」を参加者12名全員で合唱しました。シューベルトの野ばらは原語で歌い、50年余り前に横山先生にドイツ語をお教えいただいたことを思い出しました。ふと後ろから美しく伸びやかなお声が聞こえました。なんと講師の母上のこと(90歳を超える御年のこと)。発声は長寿の源です。皆さん、と一緒に歌いましょう。

## 交さ点 (会員だより)

青葉の集いに出席して

岡本 京子(大妻高等学校8組古川先生クラスS47)

卒業してすでに30数年を経てますが、これまで一度も「青葉の集い」に出席したことがありませんでした。記念会や同窓会東京がどのように運営されているのか知りたいと思いつつ、一人で出席してもよいものなのかと躊躇しておりました。総会後のパーティーも敷居を高くする要因でした。立食ではなく着席スタイルの会食会とのこと。一人でだいじょうぶだろうか? 東京事務局に電話したところ、「お一人で参加されている方もたくさんおられるし、新しい友人も増えます。」と勧められ、思い切って出席しました。

総会では事業報告、来年度の計画などわかりやすい説明があり、カルチャー講談と続き、パーティーでは記念会会长、来賓の先生方のご挨拶、各地方同窓会代表のご紹介などがありました。会場をみまわすと比較的年齢が高い方でお一人での参加も多く、周りと楽しく話をされておられました。人生の先輩から貴重なお話も伺えました。老人ホームの見学会のお話もとても参考になりました。服装も着物や正装からカジュアルまで個人が思い思いに自由に参加して居られます。総会を利用してミニクラス会を開いても楽しいかと考えています。次回の参加時には、大妻と一緒に学んだクラスメートを誘って是非参加したいと思います。皆様も、お一人での出席で迷われて居られたら思い切って一度参加してみませんか。なつかしい校歌を歌うのも良いものです。

### 大妻同窓会東京第4期役員

(平成23・24年度)

代表 山田 恵理

副代表 植野 一恵 津田 厚子

監事 岡 小枝子 吞山委佐子

### 第4期運営委員

阿部 栄子 植野 一恵 江口 邦子 太田 妙子  
大西 敏子 大野美恵子 木野内清子 久保田佳子  
白井恵美子 津田 厚子 内藤 まり 中澤 範子  
長岡 博子 秦 由美 平林 昭子 村井 容子  
諸原 尚美 山口美恵子 山田 恵理

### ◆編集後記◆

本紙を無事に皆様のお手元に届けることができ、大変嬉しく思います。毎回、予定通りには進みませんが、1年間の活動の様子を少しでも身近に感じていただきたいという思いで一同作業しております。本紙が同窓会東京の行事に参加するキッカケとなれば更に喜ばしいことです。 (E.Y)

### 平成23年度収支決算書

(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

### 平成24年度収支予算書

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

### ご寄付

阿部 栄子様	1万円	岡 小枝子様	1万円
木野内清子様	1万円	内藤 まり様	1万円
呑山委佐子様	1万円	山田 恵理様	1万円